既成の組合は私生兒となる

治警十七條以上に勞働者の敵となる職業組合法案通過

縱が横になつただけでも内務省と農商務省の頭の相違が解るが提出案

床

次内相の縱の組合は臨内に籠つてゐた裡から不許可の方針たつた爲か遂に產聲さへも擧げなかつたが今度は時勢順應の橫の職業組合なるものが農商務省の發案かで今議會に提出されることゝなつた右に就き一勞働團體の究者は語る「縱が橫になつただけでも内務省と農商務省の頭の相違が解るが提出案なるもの、内容を一瞥すること矢張り特殊國の勞働組合法に過ぎない職業組合なるものは一番古いもので之れでは到底資本家に抵抗することは出來ぬ最近の傾向の產業別の組合でなくては勞働運動の實權を掌握する事は大ケ敷い立案の結果が既に時代遲れで何等の價値のあるものでは無い第十八條の如き制限した職業組合會の設立を許すのみであつては既成の勞働組合即ち友愛會の如き鑛山、紡績其他各種職業を網羅した組合は公認されぬ事になるから結局私生兒となり從來發揮した將來發揮せんとする大勞働組合としての實權を根柢から破壞されて了ふ事になる勞働組合の同盟罷業權を否定せんとする治警第十七條を撤廢せずに組合法案も無いが法案中第十四條を規定せんとするに至つて御沙汰の限で之は電車鐵道事業の職業組合は公益を害す云々で官廳から罷業禁止の命令を受けると絕對に罷業を決行する事は出來ず又目的に違背云々と言つても第二條の屬僚條の維持改善其他職業上の利益の增進を圖らんがために或る手段を講じても行政官廳の解釋に依つては組合の解散も來たされる事となるではないか」

第十四條は第十七條以上

流感十萬

福岡縣下

死者五千人

流行性感冒も昨今やつと下火になつた樣だけれどまたく什麼して業觀する譯には行かぬ衛生課の統計を見るが我福岡縣下を通じて去る八日の發生患者が八百四十五人死者が七十人と云ふ事んなつて居るそれで發生當時からの罹患者及死者の

◇累計を示すは去る八日まで罹患者九萬五千三百五十七人中死者五千三百一九人を出して居る以上は軍に福岡縣下の統計附くからこの御見舞を受た貧之人に過きないが之を全國から示したこと當に目も當られぬ有樣である

この兩惡令が相俟つて所謂假釋なき適用されたならは其結果たるや測る可からざる危殆を招くに至るたらうと信ずる」

陳情と警戒持續

八幡製鐵所罷業

農相に會見

十二日入京を能としてゐるのでは心細い、靜謐によつて一日も早く謀

平穩に

日の製鐵所は全く表面、職工側の代夫、

ならは偉大なものであらう之等の内には同病に罹はれて一家殆ど全滅の悲慘に陷つた者が各方面にあるらしい女房に亡くなられて子を抱た亭主これなどは氣の毒ではあるが何とか後の處置も着くが女房と子供が殘つて亭主の先立たれたのは何ういふても甚だ悲慘である何しろ大黑柱が無くなつたのだから一家の持てる筈はないそれも相當に貯へでもあれは心配も少い併し洗ふが如き赤貧と來れは全く途方に暮る有樣であるされは流感も心して金のない方面には變はぬ樣にしてやれはいゝが其處は新聞紙上で一向お構ひなしに貧乏者へも點を施進、

是等の修府は何れ由ありこたる次第た

出るには出るであの煙りでは

完全な作業は出來ぬ製鐵所

職工氣分を一新せねばダメ

不安と動搖の裡に包まれた八幡製鐵所五百臺の煙突よりは漸く黑煙を吐く樣になつたが是れを以て直に事業の恢復、罷業の止たとは言ふ事は出來ない七十有餘の工場内からは未た全く不穩の氣が一掃されて居ない物々しい警察官の警戒云々で官廳から罷業禁止の命令を受けると絕對に罷業を決行する事は出來ず又目的に違背云々と言つても第二條の屬僚條の維持改善其他職業上の利益の增進を圖らんがために或る手段を講じても行政官廳の解釋に依つては組合の解散も來たされる事となるではないか」

顏面

繰込

煙突

滿ち渡つて何時鐵片や鐵棒の雨が降らないとも限は中央機關部の

から吐き出す黑煙を指さして「アノ煙では仕事が出來るものではない」と冷笑した。事實昨夏當局

の各警部を殆ど縣警察部の移轉したような奇觀を呈して居る。理由——は製鐵所が平穩になつたか乃至は今尙危險期を經過せざるか——自明の理だ。怠業、怠業、實に巧明なる怠業は製鐵所七十有餘の大小工場の中心原動力たる中央機關部に於て遺憾なく發揮されて居る。一職工

兩警察部長、南峠、小山、末岡に小原福岡、兒島若松、の

んでゐる。八幡警察署内には藤警察部長を御大